

災害用マンホールトイレのご使用について

① トイレを準備する

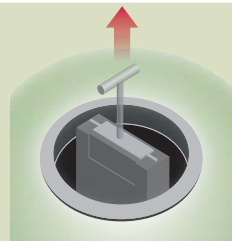
- トイレ用マンホール蓋を開けます。
- マンホールトイレ上屋を組み立て、マンホールの上に設置します。



トイレが使用できます

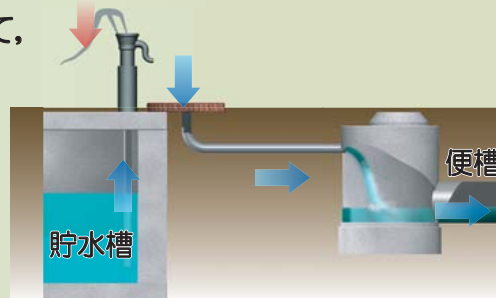
② 下水道本管へながす（1日1回実施）

- 1日使用したら、ゲートを引きあげ、地下部分の便槽に溜まった汚物（し尿）を水と一緒に下水道本管へ流します。



③ 水をためる

- 手押しポンプで汲み上げて、便槽に水をためます。



【災害用マンホールトイレについて】

上下水道局

下水道部計画課 TEL:075-672-7840

総務部総務課 TEL:075-672-3133

【マンホールトイレ上屋について】

行財政局

防災危機管理室 TEL:075-212-6792

平成 30 年 3 月作成

災害用マンホールトイレ

災害時にも安心なまちづくり



京 都 市

地震により下水道の被害や断水が発生すると、普段使用されている水洗トイレが利用できなくなります。また、多くの人が集まる避難所等では、衛生的な生活環境を確保することが重要です。京都市では、下水道に直結した災害用マンホールトイレを整備し、災害時にも安心なまちづくりを進めています。



災害用マンホールトイレのしくみ

下水道に直結した複数のマンホールを避難所等に設置しておき、災害発生時にマンホール蓋を開けてトイレとして使用できるシステムです。

- あらかじめ便槽となる管を地中に布設し、一定間隔で縦管とマンホール蓋を設けておき、災害発生時には、蓋を開けマンホールトイレ上屋を設置します。
- 便槽の管内に一定の水を貯留しておき、1日に1回程度、下流に設置したゲートを開くことにより、溜まった汚物（し尿）を下水道本管に排出し、衛生的で臭いの少ない清潔なトイレ環境を実現します。
- 貯水槽には、3日分の水の容量を確保しており、便槽分の貯留水と併せて4日分の排出を可能としています。

災害用マンホールトイレ各部の機能について

手押しポンプ 貯水槽の水を便槽に注入するためのもので、ハンドルを上下させて使用します。	便槽 汚物（し尿）を溜めておくものです。内部で固まらないように水で満たしておきます。	マンホールトイレ上屋 トイレ用マンホールの上に設置する上屋 TENT や便座等で、和式と洋式のものがあります。避難所にある防災倉庫を中心に配備されています。
貯水槽 便槽に入れるための水（雨水等）を貯めておくものです。 ※飲用にはご利用いただけません。	ゲート ゲートを引き上げて、便槽に溜まった汚物（し尿）を水と一緒に下水道管へ流します。（1日に1回実施）	

地上部分

地下部分